

様式 1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和 7 年 1 月 28 日

東員町議会

_____ 伊藤治雄 様

東員町議会

_____ 伊藤まり

研 修 報 告 書

研修期間	令和 7 年 1 月 27 日(月) ～ 令和 7 年 1 月 28 日(水) 【 2 日間 】
研修（視察）先	① かつらぎ町議会(和歌山県) ② 王寺町議会(奈良県)
目的（テーマ等）	議会広報広聴活動について
資料添付の有無	有

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

様式1〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名：伊藤まり 〕

研修概要、内容、所感

1. かつらぎ町 1 月 27 日（月）

【研修概要】 かつらぎ町議会、議会だより編集特別委員会5人の議員と議長、事務局2人、そして当委員が一堂に会しました。かつらぎ町議会の委員長から『議会だより』の概要、編集体制、コンクールの受賞歴、編集方針、編集の流れなどの説明をいただいた後、質疑応答によって理解を深めました。

【内容】

- 議会だより編集特別委員会

かつらぎ町議会では、議会だよりの編集を担当する特別委員会が組織されています。「広聴特別委員会」とは別の組織です。

委員は立候補制ですが、立候補者が少なく、委員編成に難航したそうです。委員会には議会事務局の職員が、議員と対等な立場で加わり、積極的に関与しています。例えば、「かき母ちゃん」というキャラクターは、事務局の発案で登場し、議会だよりで、解説役を果たしています。

- 議会だよりの制作

議案が提出されると、委員長が議案を基に予想してページ割りを提案し、委員会はその詳細を議論します。

レイアウトは、以前は委員会が行なっていましたが、現在は印刷業者に印刷と合わせて依頼するようになりました。業者を選定する入札の時、実際にレイアウトをしてもらって、業者を選びました。この業者にしてから、レイアウトの調整にかかる回数が減り、効率的に制作できるようになったといえます。なお、費用の削減もできました。

記事は、委員会や本会議の質疑応答だけでなく、質疑を通じて明らかになった情報を記事にしています。そうすることで、議論を平面的に伝えるのではなく、立体的にわかりやすく伝えることができます。

例えば、一般会計が委員会で不認定になったが、本会議で認定された、という出来事を、プロセスに焦点を当てて説明しています。

また、視認性を高めるため、行間や文字間隔を重視しています。写真は、発言している動画の瞬間を切り取って使用することで、緊迫感を表し、視覚的な工夫がされています。

- モニター制度

議会広報広聴活動の一環として、モニター制度があります。モニターは 13～14 人です。目的は、議会への理解を深めていただくこと、議員になる人材の裾野を広げることです。モニターは、議会の本会議や委員会を傍聴、議会広報紙やホームページ、映像配信を視聴して意見や感想を提出します。また、議員との意見交換会で、意見を議員に直接伝えることができます。

す。レポート提出に謝礼を支払い、モニター参加を促していますが、最近参加者が少ないため、委員会側からお願いすることもあるそうです。

【所感】

広報活動の質を高めると議会の透明性を確保できます。透明性が上がり、議会の動向、町の意味決定の顛末が伝わると、住民の議会への関心が高まり、町政への関心と参加意識を刺激すると思います。『議会だより』に加え、動画やモニターを活用した積極的かつ建設的な広報活動は、町民によりそう町政の実現に寄与すると思います。

1. 王寺町 1月28日（火）

【研修概要】 王寺町議会広報アドバイザーと議会広報編集委員会委員長、当委員が会しました。町議会広報アドバイザーである村田大地氏は、町職員で、議会事務局です。村田氏は王寺町広報紙や町公式サイトのリニューアル、SNSの立ち上げなど、多岐にわたる広報改革を成功させ、全国広報コンクールで高く評価されています。全国各地で広報やDXに関するセミナーのご講演をされています。村田氏の豊富な経験と知識のご講演をお聞きする研修でした。

【内容】

- 気づいた課題
広報アドバイザー村田氏の出発点は、広報活動は住民に届かなければ時間とお金の無駄になる、と気づいたこと。
- 住民の声を反映する
『議会だより』を刷新するにあたり、住民が読みたい紙面を作るために、人を前面に出し、住民の声を積極的に取り入れることを重要視しています。広報モニターを1年間委嘱し、どうすればより良い広報になるかモニター（住民）とともに考えています。こうした住民目線の広報誌にすることで、広報紙を愛読している住民が90%に達しました。対外的には受賞に繋がっています。
- ひきつける技術
まず、ターゲット層を明確に設定することが重要で、王寺町は20代から40代の女性をターゲットにしています。これは、転入転出が多いことを考慮したためです。20代から40代の女性に好まれるカジュアルで親しみやすいデザインになっています。
ビジュアルは20代から40代の女性がターゲットですが、内容は老若男女をひきつける必要があります。関心を引きつけるため、住民を前面に出すことが大前提です。
- 手に取っていただく技術
広報誌はプッシュ型であるため、手に取ってもらうことが重要であると説明されました。0.3秒で価値を感じてもらえるようなデザインが求められます。広報誌は報告書ではありません。「脱報告書」を掲げ、パラパラと開かせる

ため、イラストの配置などを工夫しています。

さらに、広報紙はわかりやすさが最優先です。そのためには、広報全体の基本的な考え方を委員が合意している必要があります。基本的な考え方、コンセプトの合意の下で、何を深掘りし、何を薄くするかを明確にします。

- 読み進んでいただく技術

広報業界で「トンマナ」と呼ばれるトーン＆マナーの重要性を教わりました。これは、デザインやスタイル、文言に一貫性を持たせることです。

また、見出しのジャンプ率や帯によるひきつけ方、さらに、ユニバーサルデザインフォントを使用して適正な行間と文字間隔を保てば読みやすさを確保できることも教わりました。ユニバーサルデザインフォントで作られたテストは正答率が上がるという研究結果を紹介され、ユニバーサルデザインの効果を強調されました。他に、視認性、可読性、判読性を求めること、レイアウトの基本法則（近接の法則、反復の法則）を守ることが重要です。一定のルールで揃えて配置することで直感的に理解しやすくする整列の法則や色使いも具体的に学びました。

レイアウトを印刷業者に依頼する場合、印刷業者はデザイナーではなくオペレーターがデザインするので、効果的な広報にするには、デザインを詳しく伝えなければならないという指導も受けました。

【所感】

王寺町『議会だより』は、ブランディングに成功したのだと感じました。『議会だより』で議会の活動、審議内容と決定、政策を知らせることで、議会の特性や有用性を明らかにし、結果、議会のイメージがよくなり、住民に親しまれ信頼されるようになったと思います。

また、0.3 秒で必要だと判断され、手に取ってもらい、さらに読み進んでいただくための技術解説は非常に有益でした。

『議会だより』によって、議会の有用性を示し、町政に関心を高めていただけたら、自分の町、東員町に愛着が生まれ、深まります。わが町への愛着はお住まいの方の行動変容を促します。愛着による行動変容は、町全体の発展に寄与します。これが『議会だより』の意義だと感じました。だからこそ、『議会だより』は“脱報告書”しなければならないと思います。

以上